



議会だより

かわしま

No. 132

令和3年1月25日



使いやすくなった中山小学校のグラウンド

12月定例会 ③

12月定例会の審議結果 ⑥

委員会の動き ④ ~ ⑤

一般質問 町の考えを問う ⑦ ~ ⑪

新年の御挨拶



議長 爲水 順二

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましても健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、日照不足や降雨量不足が心配されていましたが、農作物への影響は少なく、また、当町周辺での大規模地震や、台風上陸等の被害もなく、自然災害に関しましては、安堵の年となりました。川島町議会では令和元年の台風19号の経験を踏まえ、災害時における議会及び議員の対応について、改めて具体的な方針を定めるため、災害対策要領を見直しました。今年、町では新たに作成したハザードマップや戸別防災ラジオの配付を決定しております。災害時には、町民の皆様一人一人の行動が大変重要になってまいりますので、是非、防災に対し、更に関心を持っていただけると幸いです。

一方では世界中で新型コロナウイルス感染症が流行し、我が国においても第2波、第3波と猛威を振るい、経済の落ち込みや医療体制の逼迫による医療崩壊が懸念されています。町民の皆様も日常生活において「新しい生活様式」の取り入れや、各種イベント等の自粛により、不安や戸惑いの多い一年だったと存じます。今年も、緊急事態宣言が再度発出されておりますが、一刻も早い終息を願うとともに、延期されていたオリピック・パラリンピックが無事開催されることを期待し、同時に地域の活力や賑わいが取り戻せるよう希望を持っていければと思っております。

今年一年が皆様にとりまして、喜びと幸せがギュウッと詰まった縁起の良い年になります事をご祈念申し上げます。



渋谷議員 粕谷議員 稲村議員 森田議員 柴田議員 矢内議員 加藤議員
石川議員 小峯議員 新井副議長 爲水議長 小高議員 道祖土議員 菊地議員

川島町議会から国へ 意見書を提出しました。

昨今、異常な気候変動の影響を受け、自然災害の頻発化・激甚化にさらされています。このような甚大な自然災害に事前に備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靭化は、一層その重要性を増しており、喫緊の課題となっております。

このような状況を鑑み、町議会として「防災・減災・国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書」の提出が12月定例会で決議されたので、次の要望事項を国の関係機関へ意見書として提出いたしました。

- ① 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。
- ② 地方自治体が国土強靭化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- ③ 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靭化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。また、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること。

新たなごみ処理施設の 検討に向けて

日程／10月6日

(総務経済建設常任委員会)

10月15日

(文教厚生常任委員会)

視察先／①川島町環境センター

②小川地区衛生組合

③埼玉県環境整備センター



埼玉中部資源循環組合の解散後、新たなごみ処理の方向性を模索するため、町議会議員と各地区代表区長が2日間に分かれて「ごみ処理施設視察会」に参加しました。

老朽化が心配される川島町環境センターの現状を改めて確認した後、小川地区衛生組合(小川町)と埼玉県環境整備センター(寄居町)の施設を視察しました。

総務経済建設常任委員会

選挙運動の公費負担条例

問 公職選挙法の改正による条例制定だが全国同様なのか。

答 公選法では上限額を定め、その範囲内とされており、町村によっては異なる場合があります。今回公費負担となるのは、選挙運動用自動車、ポスター、ビラについてです。

特別定額給付金

問 申請にオンラインと郵便があるが、その内訳は。また全体の支給者と未申請者は。

答 オンライン申請は 96 件で残りは郵送申請です。11 人の辞退者を含む 19,845 人が申請、19,834 人に支給、16 人が未申請です。

高品質堆肥施設

問 今回、高品質堆肥施設が利用組合から町に無償譲渡となっているが。

答 国の経営構造対策事業により、利用組合が主体で堆肥施設を整備しました。組合の解散により、町に無償譲渡することで国への補助金返還が免除され、今後、堆肥化施設として利用を検討していきます。

コロナ対策と併せた景気対策を

委員長コメント



車で混雑するホームセンター

2020年は、コロナ対策で明け暮れ、各種町行事の中止、生活様式の変化など収束の見えないコロナウイルスに世界中が振り回されました。経済も大きな打撃を受け、コロナ倒産も増え、飲食業・観光業等厳しい状況です。東京オリンピック・パラリンピックが開催され、明るい笑顔と景気の回復を望みます。

動画配信によるコロナ対策

問 町民へコロナ対策をお願いするのに、動画の活用を進めてはどうか。

答 現在、LINE@で1分程度の町長動画を配信していますが、YouTube動画についても検討したいと考えています。

職員の分散業務の対応

問 コロナの第3波が来ている状況で、分散業務における職務環境の整備は。

答 既にコミュニティセンター、町民会館で実施できるよう設備環境を整えており、電算事務環境、電話回線の整備も整えてあります。

畜産農家の糞尿の適正処理

問 畜産の糞尿処理について、農家にどのように指導しているのか。

答 家畜排泄物法の管理基準で、管理記録が義務付けられており、町内の畜産農家については、きちんと管理されていると県から伺っております。町では悪臭等で苦情の場合は、農家に適切に指導しています。

文教厚生常任委員会

地域活動センター

問 地域活動センター設置の考えは。

答 地域活動センターの設置をいつ、どのようにしていくのか町長部局とも連携しながら検討していきます。

地区公民館のトイレ

問 今後、公民館として利用される旧出丸小学校のトイレを洋式トイレに改修する考えは。

答 全てというわけにはいきませんが、洋式トイレへの改修を予定しています。

ギガスクール構想

問 ギガスクール構想の状況は。

答 新型コロナウイルスの影響で令和2年度中に前倒して実施するため、小中学校の校内LANと一人一台の端末整備を進めています。

新年度は予定どおりの公民館事業を

委員長コメント



毎年開催されていた地区公民館の盆踊り大会

令和2年は公民館事業も新型コロナウイルス感染症の影響で中止に追い込まれました。地域の皆さんが楽しみにしていた各地区公民館主催の盆踊りや体育祭などが中止となり、残念な一年でした。令和3年こそは新型コロナウイルス感染症が収束し、地域の皆様方の触れ合いの場の地区公民館事業が予定どおり開催できることを願っています。

資源回収事業

問 資源回収事業報奨金の減額理由は。

答 新型コロナウイルスの影響で、資源回収活動の取り止めや回数を減らしたためです。

地域型保育給付費

問 地域型保育給付費負担金の増額理由は。

答 小規模保育と事業所内保育所が対象で乳児3名と1、2歳児が2名増えたためです。

幼稚園教育推進事業

問 幼稚園教育推進事業の返還金の理由は。

答 令和元年10月から開始された幼児教育・保育無償化について、実績に基づき返還金を計上しました。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名													
		加藤進	渋谷幸司	矢内秀憲	粕谷克己	柴田一典	稲村美代子	小峯松治	新井悦子	森田敏男	菊地敏昭	石川征郎	道祖土証	小高春雄	爲水順二
専決処分の承認を求めることについて															
令和2年度川島町一般会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
条例の一部改正															
川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町長等の給与等に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町一般職員の給与に関する条例等の一部を改正	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	―
川島町国民健康保険税条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町公民館設置及び管理条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
新規条例の制定															
川島町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和2年度 補正予算															
川島町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止															
町道路線の廃止について（町道5780号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議員提出議案															
防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっております。）

町の考えを問う

町政一般質問要旨 12月7日、8日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

※質問項目の区分により太字にしています。

渋谷 幸司 議員

- 1 電磁波による健康被害について
- 2 マイ・タイムラインの普及について
- 3 生活困難者への食料支援について

稲村 美代子 議員

- 1 押印廃止について
- 2 防災について

矢内 秀憲 議員

- 1 かわみんタクシー運行の町外拡大について
- 2 郷土資料館の事業実施について

柴田 一典 議員

- 1 小中学校におけるコロナ対策について
- 2 行政手続における押印廃止の動向について

道祖立 証 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症による影響と対策について
- 2 当町の内水対策について

粕谷 克己 議員

- 1 ごみの不法投棄対策について
- 2 「新しい生活様式」を踏まえた自治会活動等について
- 3 地域コミュニティの活力維持等を目的とした区域指定について

加藤 進 議員

- 1 空き家問題について
- 2 かわしまスポーツチャレンジについて

新井 悦子 議員

- 1 福祉施策

小峯 松治 議員

- 1 ごみ処理の今後について
- 2 洪水対策について

問 携帯電話無線基地の建設が町内で進んでいます。新しい通信システム5Gは電磁波が強力になりますが、遠くへは届かないためにアンテナが沢山必要になります。海外では電磁波による健康被害が生じた事例もありませんが町の対応は。また、教室内の電磁波から児童生徒の健康を守る考えは。

答 5Gが開始されたスイスなどでは、不眠症、耳鳴り、頭痛などの症状が発生した事例があります。町内でも健康被害への懸念がありますので、今後も注視していきます。また、学校ではICTを活用した教育に取り組んでいきますが、児童生徒の健康状態に配慮していきます。

問 マイ・タイムラインの普及が必要で。今までに開催したマイ・タイムライン講習会の回数、参加総数は。今年度の講習会開催予定と学校で防災教育にマイ・タイムラインを取り組む考えは。

答 講習会は2回開催し、参加

問 携帯電話無線基地建設が進んでいるが健康への被害は。

答

健康被害の事例がありますので注視していきます。



渋谷 幸司
しぶ しょうじ



携帯電話無線基地の建設が進んでいます

総数は75名です。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、開催しませんが、川島版マイ・タイムライン作成動画を準備しています。学校でのマイ・タイムラインを活用した防災教育は大変重要だと考えています。

問 新型コロナウイルス感染が再び広がっています。生活困難者への食料支援等が必要です。町内のひとり親家庭の現状は。

答 町内のひとり親世帯は179世帯です。町の支援として、児童扶養手当・医療費の支給、保育料の減免等を行っています。

問 押印廃止について町の考えは。

答 国、県と整合性をはかり、廃止していきます。

(押印廃止について)

問 現在の押印の数は。そのうち国、県はどれ位あるのか。

答 申請書類は、個人、法人、その他を含め755種類あります。そのうち、法令などで定められているものが国は1331、県は39、その他74の計244種類です。

問 政府は、2021年の通常国会で押印廃止の法案を提出するそうです。町では押印廃止についてどのように考えているか。

答 現在、町としての統一の方針を検討しています。国、県と整合性をはかり、積極的に廃止していきます。

(防災について)
問 ハザードマップはいつごろ配布されるのか。

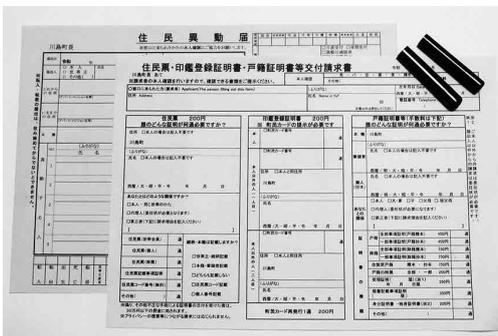
答 12月の予定でしたが、多くの情報を掲載したものを作成したいと考えており、発行が少し遅れます。マイ・タイムラインと合わせた説明会も検討しています。

問 町では、平成30年に「災害時



稲村 美代子
いなむら みよこ

におけるバス利用に関する協定」を締結しました。災害時に要支援者等を避難所に輸送するためのもですが、具体化を図る考えは。 **答** バスの確保等、多くの課題はあるが、検討していきます。 **問** 自主防災組織は、各地区、自治会で組織されていますが、自主防災組織同士、町と自主防災組織との連携が必要では。 **答** 町、自主防災組織、町民が一体となって取り組むことが大切と考えています。



脱ハンコで行政手続きをスムーズに

問 かわみんタクシー運行での町外の病院を増やせないか。

答 料金を含めて内容を見直します。

問 年間おおむね300万円ずつ増額傾向の町負担額について検証されているのか。また、利用方法や利用区域などの料金の見直しも考えられるが、その際はサービス低下を防ぐため、現在において町外への運行が4か所の指定病院のみとなっているが、この町外指定病院の指定か所を増やしていただきたいが、町の考えは。

答 町負担額の増加は、昨年10月と本年10月を比較すると、約3割の増となっています。また、本年2月の運賃改定も大きく影響しています。受益者負担の公平性の観点からも、料金の見直しを考えています。特に、町外の指定病院の拡大を含めた内容の見直しに向けて、持続可能な交通手段としても、町地域公共交通会議に諮ってまいります。

問 郷土資料館整備に向けた情報収集及び整備事業の実施と公開について、教育長の考えは。

答 町内の有識者を助言者として、「かわじま郷土資料館(仮称)開館プロジェクト」を本年9月



矢内 秀憲
やない ひでのり

からスタートしました。現在、先進地の視察や意見交換を進めているところです。本町の郷土資料館は、旧小学校を利活用して整備する予定です。 **問** 映像技術やバーチャル機能を駆使した工夫。また開館後は、資料館友の会などが結成できるようにコンセプトを持つべきと思うがどうか。 **答** 今後、この質問を受けたことを、しっかりと議論・検討します。



いつもお世話になっています。
かわみんタクシー

問 児童生徒や学校関係者の皆さんは、さまざまな行動制限を行い、協力しながら、学校生活を過ごしています。

このような状況ではありませんが、できるだけ子どもたちには、充実した楽しい学校生活を提供したいと考えます。そこで、次の点について町の考えは。

①学校の中で感染者が確認された場合の対応を、自分が感染した時の心構えや、友達が感染した時の寄せ方などを中心に、授業等でしっかり行っておくことが必要ではないでしょうか。

②町では、修学旅行については、学校関係者の知恵と努力によって、実施されると聞いています。今後、受け入れ先の条件で、PCR検査などの条件が提示されることも想定されるので、それらの、予算も対応しておく必要があるのではないのでしょうか。

③部活動の大会が、さまざまな形で開催の制限を受けていることを聞きます。大会を中止させないためにも、大会出場条件に、町から、

問

小中学校の学校生活を止めないためのコロナ対応は。

答

予算の対応を含め、しっかりと行っています。



柴田 典一 (しば たかかずのり)



気迫あふれる部活動の大会

PCR検査などを提案し、積極的に対応していただきたい。

答 適切な知識をもとに、授業等で指導をしています。今後もしっかり取り組んでいきます。修学旅行や、部活動の大会を実施する上で、PCR検査などの必要性についてのご指摘については、貴重なご提案と受け止め、検査が必要な状況が生じた場合は、予算確保に向け、しっかり対応していきます。

PCR検査などを提案し、積極的に対応していただきたい。

問 当町の内水対策の考え方は。

答 昨年の台風19号では家屋の床上床下浸水や道路冠水等が発生しました。その経験を生かし、流下能力向上のための雨水幹線や排水路の整備、土地改良区のファームポンドを活用した貯水能力の確保を図るなど、排水対策を進めます。

問 雨水幹線の整備状況は。

答 飯島雨水幹線は令和2年3月末において、整備率は約61%となっており、現在進めている工事が完成いたしますと整備率は約68%となります。

問 近隣の貯水タンク設置補助状況は。

答 県内17市で実施し工事費の半額を補助しているようです。

問 公共施設の遊水機能の考えは。

答 今後、新しい施設を設置する場合は、基準に基づいて、考えていく形になります。

問 住宅用雨水貯水タンクの設置補助や止水盤、吸水性のある土嚢アクアブロックの設置補助、側溝や排水路の定期的な清掃、安価

問

吸水性土嚢の導入を。

答

防災の意味から取り組みたい。



道祖土 誠 (みちすの せい)



吸水性のある土嚢

で簡単に被害が軽減される田んぼダムの推進、グラウンドや公園整備の時に遊水池を考えて計画できないか。

答 示唆に富んだ内容であり、防災の関係でありますので、提言も含めて取り組んでいきます。

問 飲食店のため、CO2センサーや加湿器機能付空気清浄機の設置に対し補助する考えは。

答 提案を含め、状況を見定め、必要と思えることがあれば間髪を入れず、支援したいと考えています。

問 「新しい生活様式」を取り入れ、環境美化運動を再開できないか。

答 彩の国新しい生活様式を参考に、感染状況により美化運動を実施します。



粕谷 克己
かす や かつ み

問 コロナ禍の中プラスチックゴミや不法投棄が目立つが、監視員制度を設けられないか。

答 不法投棄対策として監視活動や看板設置を行っています。不法投棄は犯罪であり、逃げ得を許さないためにも監視員制度等の研究をまいります。

問 感染症対策で自主防災活動も制限されているが、避難行動要支援者への支援は行えるのか。

答 町では各地区自主防災会や民生委員の協力のもと要支援者の個別計画と災害時の避難支援に取り組んでいます。情報提供に同意いただいた要支援者602名の方に、実効性ある計画を策定していきます。

問 町は地域コミュニティの活力維持を目的に都計法第34条第11号区域の指定を行ったが開発計画はあるのか。

答 開発行為が制限される市街化調整区域内に建築の立地基準を緩和し、人口流入のための受け皿として区域指定(約126軒)を4月に行いました。相談



感染対策を踏まえた
自主防災会合同訓練(12月6日旧出丸小)

はありますが、開発申請は今のところ受けておりません。
問 区域指定地域には廃校小学校もあるが、コロナ禍で働き方や住民意識も変化していると考え、地域振興や活性化に結び付けられないか。
答 第6次総合振興計画の策定にあたり住民アンケートを実施していますので、住民の考えを踏まえた計画を策定します。また、地域振興や活性化のため施設の利活用も図りたいと考えます。

問 総合型地域スポーツクラブでフットサルを実施する予定はあるか。

答 検討させていただきます。



加藤 進
か とう すずむ

(空き家問題について)

問 市街化区域と調整区域に分けるとどの位の空き家があるのか。

答 現在、町で把握している空き家の専用住宅は市街化区域68件、市街化調整区域67件です。

問 空き家バンク制度に登録は何件あるのか。

答 制度開始以来合計37件。現在登録数2件です。

問 地域への悪影響という側面からみると、雑草が伸びるなどの景観の悪化や、老朽化した家屋の倒壊などの問題が発生しております。また、不法侵入、不法投棄、放火の原因にもなり兼ねません。どのように調査、指導をしているのか。

答 空き家の調査は、調査時点の情報に基づき、水道の閉栓状態の住宅を選別し、直接職員が出向いて外観等を確認しています。調査の頻度は概ね3〜4年に一度です。空き家の指導は、空き家周辺の住民から苦情や情報提供があった場合、所有者に対し、適正管理について通知を送ったり直接指導に伺います。



ノルディックウォーキング
参加者の皆さま

問 町民体育祭の代わりに体験型のスポーツイベントとしてかわしまスポーツチャレンジを開催しましたが、どの位の人数の申込みがあったのか。
答 4種目合計で149人です。
問 フットサル導入の考えは。
答 検討させていただきます。
問 総合型地域スポーツクラブの認知度はどうか。
答 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は思うような活動ができず周知不足による、認知度が低いことは否めない状況と考えています。

(福祉施策)

問 3歳児健診での弱視の早期発見は大変に重要だが、町の健診はどのように行っているか。

答 国の指針に基づき、視力の発達を阻害する疾病の早期発見早期治療を目的に、ランドルト環方法を用いて各家庭で視覚検査を実施しています。

問 精密検査を促した例はあるか。また、近視、乱視や斜視、瞳孔不良等屈折異常検査の周知と啓発が必要と考えるが。

答 精密検査は年に1、2件あります。啓発は、健診時に十分に説明します。

問 健診で異常が見つければ視力障害を防ぐことができる。日本小児眼科学会では視力検査に加えてフォトスクリーナー等を用いた屈折検査を推奨しているが町の導入は。

答 視覚検査と屈折検査機器の併用により、弱視の早期発見と早期治療に繋がってまいります。

問 中学生のピロリ菌検査は。

答 ピロリ菌と胃がんの関係は

問 3歳児健診の視力検査に屈折検査の導入は。

答 機器の併用で弱視の早期発見・早期治療に繋がってまいります。

機器の併用で弱視の早期発見・早期治療に繋がってまいります。



新井悦子
あらい えつこ



3歳児健診で目の異常を発見する機器

わかってきております。15歳以下では胃がんのリスクを下げる根拠がないとの指摘もあり、県道の動向を踏まえ慎重に検証していきます。

問 介護する子どもヤングケアラーの支援の在り方は。

答 県が実態調査を実施した高校2年生の4・1%の1969人のうち、ケアを手伝ってくれている人がいないのは138人でした。今後、策定される県の推進計画に沿う形で対応してまいります。

問 令和6年稼働の予定で進めていた、埼玉中部資源循環組合(2市6町1村構成)が令和2年3月末で解散し、ごみ処理問題は振り出しに戻った。町の施設も40年以上経過し老朽化している。今後について、どのように考えるか。

答 既存施設の更新も町単独では、補助基準に満たず全額町費のため極めて困難であります。また人口減少社会等見据えた場合、広域的な視点の検討が必要と考えています。

問 組合解散後、関係市町村は暗中模索の状態です。今後の対応に苦慮している状況です。この際、高台避難所整備と併せてごみ処理施設の誘致を表明するのにも一案と考えるが。

答 ごみ処理は、町の責任であり、町民生活に直結する問題です。広域的処理が必要と考えています。話を進めて行くには川島町に建設しても良い、という考えを持って臨んで行きたいと思っております。

問 昨年の台風19号を踏まえ、

問 老朽化したごみ処理施設の今後は。

答 町に建設しても良い考えで、広域化を進めたい。

町に建設しても良い考えで、広域化を進めたい。



小松治
こまつ じ



老朽化した町のごみ処理施設

答 現在、釘無橋下流の越辺川において樹木の伐採、河道内の土砂掘削の実施、また釘無橋上流から道場橋付近までの区域も準備を進めております。下流部から順次進めて行くとのことですので、事業の早急な推進を引き続き関係機関に対して要望してまいります。

議会日誌

11月

- 3日 川島町表彰式
- 10日 議会運営委員会協議会
- 18日 議会全員協議会
- 24日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 30日～9日 12月定例会

12月

- 8日 議会報編集委員会
- 9日 議会全員協議会
- 17日 ラウンドアバウト(環状交差点)の視察
- 18日 議会報編集委員会
- 23日 明治大学による総合振興計画
策定に係る研究結果報告会
- 25日 議会報編集委員会

1月

- 10日 成人式
- 12日 議会報編集委員会

次回、3月の定例会

議案審議

一般質問

3/3(水)～5(金) / 3/11(木)～12(金)

3月定例会は3/3～3/16の予定です。

川越地区消防組合議会

道祖土 証 森田 敏男 小峯 松治

令和2年川越地区消防組合議会第3回定例会が10月1日開催されました。上程されました議案は、3件です。

議案第9号 令和元年度 川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入については、54億2,261万6,666円、歳出については、53億5,310万7,747円で、歳入歳出差引残額は、6,950万8,919円です。はしご付消防自動車、高規格救急自動車の購入、新消防庁舎用地の地質調査・用地測量業務委託などが執行されました。

議案第10号 川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

改正内容は、新型コロナウイルス感染症に対処するための作業に従事した職員に対し、1日につき3,000円、または4,000円の特殊勤務手当を支給するものです。

議案第11号 令和2年度 川越地区消防組合一般会計補正予算(第1号)

補正内容は、歳入歳出それぞれに1,737万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ63億4,494万8千円とするものです。新型コロナウイルス感染症対策に係る資機材の購入、感染症リスクを軽減するための衛生器具の改修等を行うためです。

全議案とも、採決の結果、全員賛成で可決されました。続いて2名が一般質問を行い閉会しました。(小峯)

表紙解説

校庭の土壌改修工事が行われた中山小学校のグラウンドで、スポーツ少年団の子どもたちが元気にサッカーの試合をしていました。

改修されたグラウンドは水はけが良くなり土質も改良され、トラックに打ち込んであったロープも無くなったので、とても使いやすくなりました。

コロナ禍の中では、スポーツ少年団の活動も感染予防対策にしっかりと取り組んでいます。朝の検温、アルコール消毒、集まる時はマスクを着用、密にならないように間隔を空けることなど。緊急事態宣言期間中は、町の方針に準じて活動してまいります。

(写真・文章/渋谷)

編集後記

新しい年を迎えた2021年。今年は延期になっていますオリンピック・パラリンピックが開催予定です。1964年の東京オリンピック・パラリンピックでは国立競技場に赤白のスーツを着て入場する姿を鮮明に覚えています。今回は大変に厳しい状況が続いていますが、スポーツ選手が「どうしたら開催できるかをみんなで考えて世紀の祭典を笑顔で迎えた」と話されていました。できないことを挙げればきりがありませんが、できることを一つでも多く築き上げる事が大切だと思います。

さて、編集委員会では、皆様の声を紙面に生かせるように研鑽して参ります。

(新井)

議会報編集委員会

相	委	副	委
談	員	員	員
役	長	長	長
爲	加	粕	柴
水	矢	谷	田
順	内	谷	谷
二	秀	一	幸
進	憲	典	悦
	己	司	子